

天草陶石を軸とした3県広域連携による陶磁器関連の研究會活動

佐賀県窯業技術センター、
長崎県窯業技術センター、
熊本県産業技術センター

授与の理由

- 九州3県の共通課題である、未利用で埋蔵量が多くて低温焼成が可能な低火度天草陶石活用に関して、県境を超えた連携活動を長期にわたり実施している。
- 3公設試は、地元企業や組合とも協業しながら技術開発し、品質安定化のための製土技術や、抗菌性食器、高透光性磁器などの独自の開発を行い商品化した。

活動内容

佐賀県窯業技術センター、長崎県窯業技術センター、熊本県産業技術センターの3公設試が企業と連携して技術開発等の研究活動を以前から実施

活動歴 (2007年～)

- 低温焼成リサイクル磁器開発(3県共同研究)
- 天草陶石を活用した環境対応型次世代陶磁器の開発
- 天然無機材料利用研究会
- 天草陶石に関する意見交換会(天草陶石研究開発推進協議会主催で年1回開催)

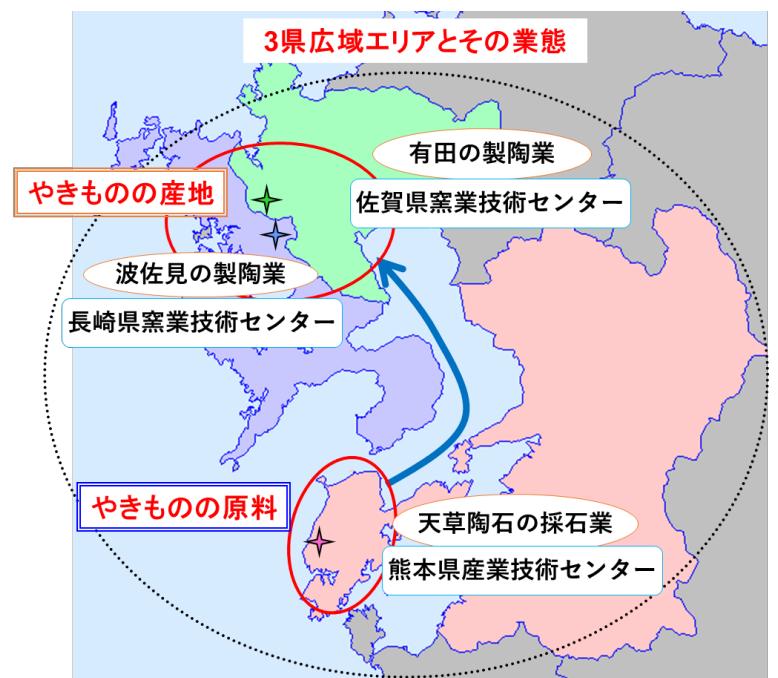
(2012年～現在)

- 天草陶石の未利用資源に関する活用研究会**

代表的な成果

低火度天草陶石を活用した製土技術および新陶磁器製品の開発

未利用であった品質が一定でない低火度天草陶石を活用し、3県が連携して新たな陶土および陶磁器製品を開発



成果物写真と現地活動等の様子